

科目名称	老年看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		1学年前期	1	15
担当教員	栗林 のり子	授業に関わる 実務経験	☒ 有（ 看護師 ） ☐ 無	

【1】授業概要

老年期を生きることの意味と価値との理解を深め、生物学的な老化から高齢者施策を含む社会的な視点に立ちつつ高齢者を捉えながら、老いを生きる人々への看護を考えていく。

【2】学習目標

1. 高齢社会における老年看護学の意味(価値)を理解し、説明できる。
2. 老年看護の対象を身体的、心理・社会的特徴とその生活背景から説明できる。
3. 超高齢社会の保健、医療、福祉と倫理的課題が説明できる。
4. 老年期の発達課題を知り、老年看護の目的と役割が説明できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☒ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☐ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☐ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	老年期を生きる高齢者の理解と老年看護の理念	講義
2	老年期を生きる高齢者の理解と老年看護の理念 高齢者インタビュー発表	講義 グループワーク
3	高齢者疑似体験	演習
4	加齢に伴う心身の変化と看護の支援	個人ワーク グループワーク
5	超高齢社会と社会保障	講義
6	加齢に伴う心身の変化と看護の支援	グループワーク
7	加齢に伴う心身の変化と看護の支援 ジグソー法によるプレゼンテーション	プレゼンテーション
8	筆記試験	

【5】評価方法

筆記試験 60 点及びレポート 20 点(高齢者インタビュー15 点 高齢者疑似体験 5 点)加齢に伴う心身の変化と看護の支援 20 点(グループワーク 10 点及びプレゼンテーション 10 点)で総合的に評価する。

【6】教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院

【7】参考書

厚生労働統計協会編:国民衛生の動向
山田律子:生活機能からみた 老年看護過程+病態・生活機能関連図,医学書院
池西静江,石束佳子編:看護学生スタディガイド,照林社

【8】受講生へのメッセージ

高齢者インタビュー、高齢者疑似体験、加齢に伴う心身の変化について主体的に学び、超高齢社会における高齢者看護について考えていきます。